

経営比較分析表（令和3年度決算）

埼玉県 白岡市

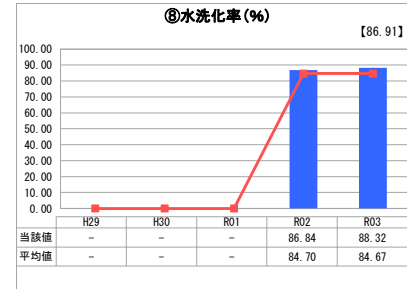
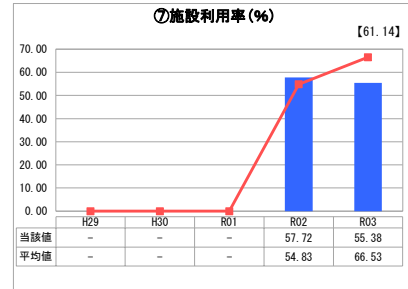
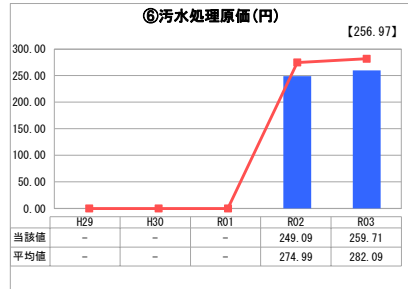
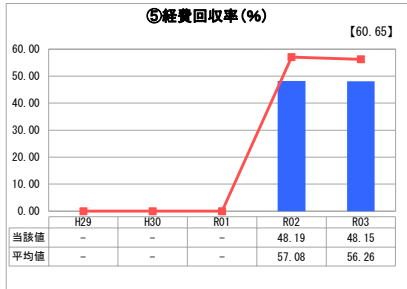
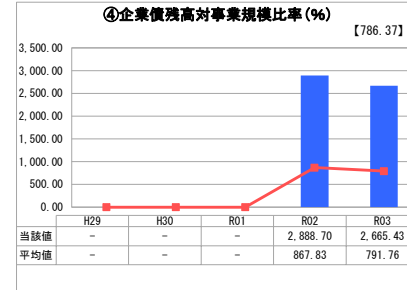
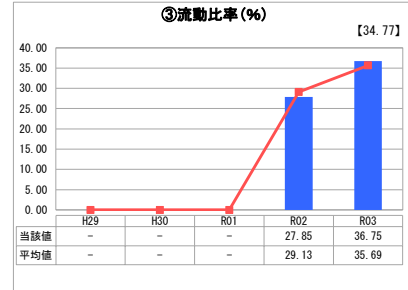
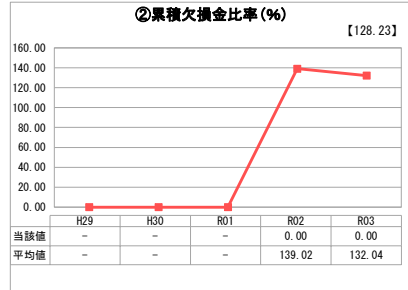
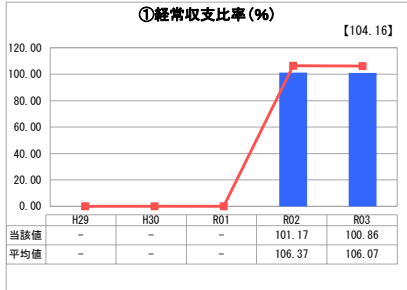
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.07	2.45	100.00	3,190

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
52,705	24.92	2,114.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,293	0.61	2,119.67

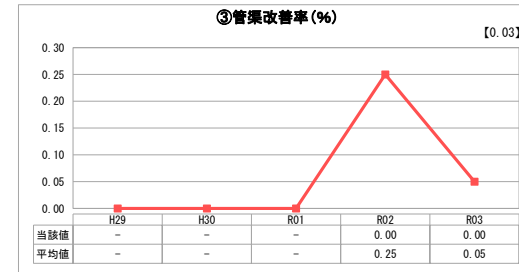
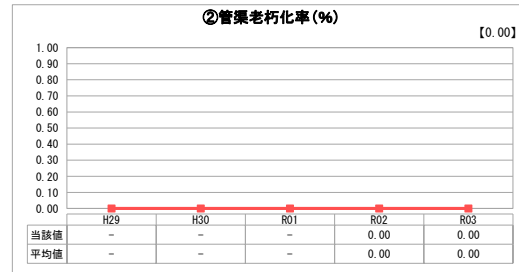
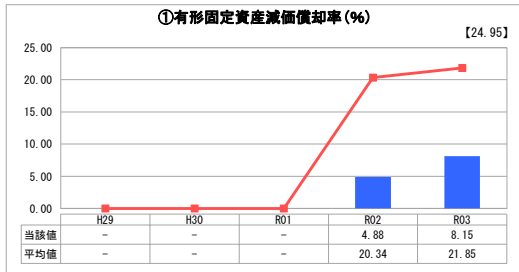
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
 経常収益のうち約20%が基準が繰入金であり、一般会計からの繰入金に大きく依存した状態である。今後改築更新の費用が増加する見込みであることから、財源の確保等を含め経営改善を図る必要がある。

② 流動比率
 流動比率が100%を大きく下回り、支払うべき負債に対する短期的な支払い能力が不足している。資金繰りの観点からも基準外繰入金に依存した状態であり、抜本的な経営改善が必要である。

③ 企業債残高対事業規模比率
 事業開始時の積極的な施設整備のために多額の企業債を発行したことから高い水準になっている。現在は企業債は減少傾向であるものの、将来的な施設の老朽化に向け、抜本的な経営改善が求められる。

④ 経費回収率
 施設の運転費用に対し、利用者が少なく十分な料金収入が得られないことから、汚水処理原価は高く、経費回収率は低くなっている。料金改定のみによる改善には限界があり、事業の集約化などを検討していく必要がある。

⑤ 施設利用率
 施設の余力が大きい、今後人口減少が進み、施設利用率はさらに減少する見込みである。

⑥ 水洗化率
 類似団体平均と同水準であるが、今後も水洗化率の向上に努めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を超えた管渠がないことから管渠老朽化率や管渠改善率は数値化されていない。しかし、将来的な施設の老朽化に向けて、改築更新に係る費用と経営に与える影響を十分検討し、経営改善の実施や投資計画等の見直しを行う必要がある。

全体総括

現状では、基準外繰入金により不足額を補っている状況にあり、将来的な施設の老朽化や維持管理費の増加により、必要な基準外繰入金の額は今後増加していく懸念がある。こうした中、水洗化率向上による収益の増加や、経費削減に取り組むだけでなく、集約化などの抜本的な経営改善策を検討していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。